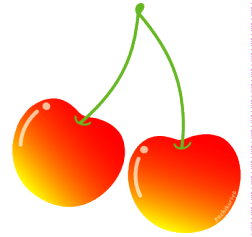


物が二つに見える(複視)^{ふくし}

こんにちは。院長の梅津由子です。今月は複視についてのお話をいたします。物が、二重に（二つに）見えることを複視といいます。

複視の原因はさまざまありますが、まずその複視が片目で見える複視か両目で見える複視かを鑑別してみましょう。複視は、片目を見たときに存在するでしょうか？それとも両目を見たときに存在するでしょうか？

右手で、右目を隠してみてください、複視は存在するでしょうか？もし、そのとき複視を自覚すれば、左目の異常です。その逆に、左目を隠したときに自覚する複視は、右目の異常です。この片目で見える複視を片眼性複視といいます。原因としては、単眼ごとの疾患や屈折の異常（乱視など）が考えられます。



片目を見たときには一つになり、両目を見たときのみになる複視を、両眼性複視といいます。これは、ものをみようとした時、目の位置にずれ(斜視)があると、右目と左目で違うものを見てしまい複視を自覚するものです。

原因としては眼球そのものの異常というより、眼球の動きを司る神経や、脳に異常がある場合が考えられます。この場合、目がどちらにずれているかによっておおよそ原因を絞り込むことができます。

外側にずれている(外斜視)とき
動眼神経麻痺といって、瞼(まぶた)が垂れる(眼瞼下垂)、目の動きが悪い(眼球運動障害)、目が外側に向いてしまったことを主症状として発症します。眼瞼下垂、眼球運動障害に加え、瞳が広がって(散瞳)、光に対する反射がなくなっている場合があります(瞳孔障害)。原因としては、瞳孔障害がある場合は、脳動脈瘤である可能性が高く、頭痛を伴うことも少なくありません。脳動脈瘤の破裂は、クモ膜下出血を発症して、命にかかわることもあるため、早急に脳神経外科を受診して、MRIなどの頭蓋内の精密検査が必要となります。瞳孔障害がない場合は、動眼神経の虚血や脳梗塞、頭部外傷などが原因として考えられます。



内側にずれている(内斜視)ときのお話はまた次回に…

ホームページ <http://www.hanazawa-eye.com>

〒992-0022 米沢市花沢町2695-1

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~1	☺	☺	☺	☺	☺	
2:00~	☺	☺		3:00 6:30	☺	☺

土曜日は昼休みなく、8:30~15:00まで

初めてコンタクトをおつくりする方の受付は

目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、目の健康に関する情報や、耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。

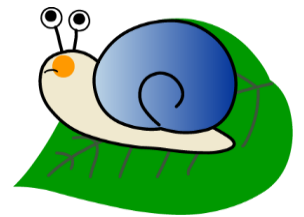


うつる結膜炎に注意

はやり目やプール熱は、非常に感染力の強いウイルスによるうつる結膜炎です。症状として結膜の充血、メヤニ、多量の涙、まぶたの内側のぶつぶつ、まぶたの腫れなどの結膜炎症状や、咽頭炎、発熱、耳前リンパ節の腫れなどがあります。消毒や手洗いを徹底し、ほかの人につっさないように注意しましょう。

【感染の広がり方について】

- ①目をさわするなどして、手にウイルスが付着
- ②ウイルスが付着した手で触れた場所に、ウイルスが付着
- ③ウイルスが付着した場所に他の人が触れ、その手で目をさわするなどして感染



【主な感染源と注意点について】

患者さんの手: ハンドソープと流水でまめに手洗いをする。とくに目をさわったあとはすぐに手洗い。

タオル: 家族間で共用しない。個人専用のものを使用する。

使用したティッシュ: メヤニや涙を拭くときはティッシュを使用し、ハンカチは使わない。メヤニや涙を拭いたティッシュにはウイルスが多量に付着しているので、ビニール袋などに密閉して捨てる。

目薬: 目薬は容器の先が目につれないように注意して点眼する。目薬の貸し借りは絶対しない。

寝具や衣類: 枕やシーツなどメヤニや涙が付着する可能性があるものは共用しない。洗濯は別にする。

入浴: 患者さんは最後に入浴し、入浴後は浴槽などをしっかり洗浄する。

プール: プールの水で感染するので、プールは禁止。回復後も1~2週間は控える。

【治療について】

ウイルスを死滅させることができる薬はありませんが、細菌による二次感染の予防や症状の緩和を目的に、抗菌薬と抗炎症薬の点眼が処方されます。治療中はコンタクトレンズの使用は中止です。結膜炎症状は、約1~2週間で自然治癒します。

【登校・出勤について】

はやり目やプール熱は、学校感染症に指定されているため、治るまで登園・登校はできません。成人の方でも、ほかの人への感染を防ぐために職種によっては休業・自宅待機が奨励されます。（特に、保育園・幼稚園・学校で働いている方、医療施設で働いている方、接客業など多数の人と接する仕事の方）診断書や治癒証明書が必要な場合はスタッフまで申し出てください。

さくらんぼ食べたいなあ～

目玉いきいきライフ！



編集後記

過ごしやすい季節になり、これから暑い季節がやってきますね♪

今回特集した「はやり目」は免疫力が低下した時にも感染しやすい病気です。暑い夏を乗り切るためにも栄養・休養をしっかり取って、体調を整えて夏を楽しみましょう!!

りっこ・ビビ・茶々・ブッチ